

阿蘇医療センターの紹介

【基本理念】

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康維持と福祉の向上に貢献する

➤病床数：124床（一般120床・感染症4床）

➤診療科

内科，神経精神科，小児科，小児アレルギー科，
小児専門外来，整形外科，脳神経外科，
耳鼻咽喉科，脳神経内科，皮膚科，泌尿器科，
婦人科，呼吸器内科，循環器内科，腎臓内科，
糖尿病・代謝・内分泌内科，血液内科，腫瘍内科，
消化器内科，消化器外科，リウマチ膠原病内科，
総合診療科，乳腺・内分泌外科，歯科口腔外科，

緩和ケアチームの活動

その人らしさを尊重した 緩和ケア

患者さんやご家族のつらさに向き合い、少しでも和らげることができるよう取り組んでいます。

病棟・外来看護師の取り組み

- 痛みのコントロール
- 体のきつさを和らげるケア
- ご本人やご家族の心のケア
- 日常生活全般のケア
- ホスピスや在宅療養の調整 等

受け持ち看護師を中心に緩和ケア担当看護師、ほか多職種とチームを組んで週1回、緩和ケアチームカンファレンスを行っています。



看護部

がん患者さんへの 薬剤師の関わり

【緩和ケア】

がんそのものやがん薬物療法によって様々な症状が出現します。

疼痛緩和

痛みに対して鎮痛剤や鎮痛補助薬の調整を行います。

各種症状への対処

吐き気や便秘など、薬剤を使用することで症状が軽減改善する場合があります。

【がん薬物療法】

薬剤管理指導（入院・外来）

薬剤師から、使用する薬剤の説明を行います。

レジメン（治療計画）管理

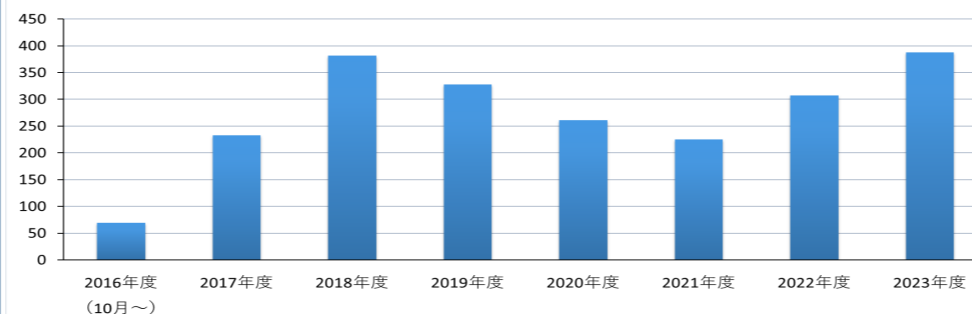
かかりつけ薬局の薬剤師とも連携しながら、適切ながん薬物療法を行えるよう努めています。

抗がん剤無菌調整

抗がん剤の投与量に間違いが無いか確認し、薬剤師が抗がん剤の特性に合わせて、安全かつ正確に無菌調整を行っています。



抗悪性腫瘍薬調製件数



薬剤部

QOL（生活の質）を重視した リハビリテーション

- ① **がん薬物療法** 施行前と施行後
副作用として食欲低下や倦怠感
→ 活動性の低下を引き起こす (><)



体力維持のための運動療法
(有酸素運動)

- ② 手術前後の **全身調整運動**

手術前

術後に向けて排痰訓練や呼吸法の指導

手術後

早期離床による廃用予防を意識した
リハビリテーションプログラムの提案

- ③ **緩和ケアはQOLを大切に**

↓
積極的な治療をしなくなった患者さんが
余命をいかに自分らしく過ごせるかが焦点！

- ・ 日常で行える自主訓練の提案
- ・ 退院後のサポート
(家屋評価・福祉用具の導入等)



生活機能とQOLの改善を目的に希望・要望を尊重しています。

リハビリテーション室

緩和ケアチームの活動

がん患者さんへの 食事支援

治療による様々な副作用に対してご本人の意向を確認しながら対応しています。

また、食事の量を摂取可能な量に調整し、栄養補助食品も利用しています。

退院後も利用を希望される場合は、購入の案内も行っています。

当院で使用している栄養補助食品

○ゼリータイプ

甘いものを好む方や嚥下障害がある方にオススメ

○ドリンクタイプ

ミルクベースのものやすっきりしたコーヒー味等

他にも様々なタイプの栄養補助食品があるので、自分にあったものを選ぶことができます。



セレクトメニューの提案について

入院患者さんにおいて、通常の食事が摂れない場合に、好みのものを食べていただけるよう、患者さん自身にお選びいただく

“セレクトメニュー”をご用意しています。

メニュー例

◆セットメニュー

お粥セット（全粥・梅干し・味噌汁）

パンセット（パン・ジャム・スープ）

◆単品メニュー

牛乳・リンゴジュース・豆乳(ドリンク類)

プリン・果物盛り合わせ・おはぎ(甘味類)

肉まん・卵豆腐・サラダ・納豆(おかず類)



栄養管理室

歯科口腔外科による 専門的口腔ケア

歯科スタッフは、緩和ケアチーム内で
歯科口腔領域の専門職として活動します！

緩和ケア中の患者さんの口腔トラブル

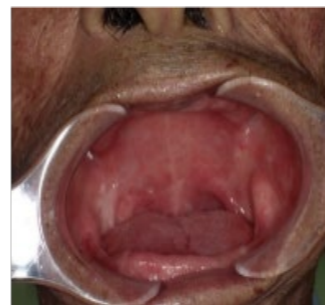
- 身体的苦痛
口腔乾燥・口腔内の痛み・感染症等
- 精神的苦痛
味覚異常等で食べる楽しみが薄れる
→経口摂取量の低下
- 社会的苦痛
口臭・口腔乾燥・痛みにより会話減
→周囲とのコミュニケーション減
→抑うつや疎外感

QOL（生活の質）を
大きく低下させる原因に！

〈ケア前〉



〈ケア後〉



〈終末期の口腔内の状態〉



口腔ケアで
QOLの向上を！

歯科口腔外科

阿蘇中部地域 在宅医療サポートセンター

在宅医療サポートセンターとは

在宅医療の拠点として、阿蘇郡市内に3か所設置してあります。看護師や社会福祉士等の資格を持った相談員が、入退院調整や訪問診療・訪問看護に関すること、看取りに関する事など、在宅医療に関する相談対応を行っており、地域の医療・介護など関係機関と協力しながら、がん患者様の在宅療養を終末期までサポートいたします。

例えば・

- ・自宅で点滴をしてほしい
- ・介護保険利用の相談をしたい
- ・薬の管理ができない
- ・訪問診療の相談をしたい

など、ご相談ください！



がん相談支援センターの活動

がん相談の研修を受けた医療ソーシャルワーカーや看護師等がさまざまな不安や悩みについてお話しを伺い、「**その人らしい生活や治療の選択**」ができるようにお手伝いをさせていただきます。

当院がん相談支援センターの目標

- ・がんに対する正しい情報を伝えることができる
- ・その人らしい生活や治療の選択ができる
- ・今後の行動への方向性を明確にできる



患者さんが『自分らしい生き方』をできるよう意思決定を支え患者さんのニーズに合った情報提供ができる。

がん治療に関する
情報が知りたい

がんになって
使える制度は
何があるのか

治療と仕事の
両立について
相談したい

相談窓口での対面だけでなく、
電話でも相談可能です。
お気軽にご相談ください！

当院がん相談支援センター スタッフメンバー

腫瘍内科医師・脳神経外科医師
消化器外科医師・歯科口腔外科医師
看護師・社会福祉士 等

